

重点施策点検・評価表

1-1

基本目標	
1	信頼と安全を築く教育環境の整備充実
重点施策	
1	安全・安心で快適な学校生活のための教育環境の整備充実を図る
	担当課(館)
	① 学校の改修・修繕など、経年劣化対策の実施による、快適な学習環境の整備
	教育総務課
活動内容	<p>・小中学校25校中、9割にあたる22校が建設後25年以上を経過し、学校施設の老朽化対策を早急に講じなければならない時期にきている。</p> <p>・施設や設備の改修・修繕が必要な箇所は年度の予算要求前に調査をし、小規模から中規模のものは改修内容の分類や必要経費を算出して、危険度などの優先順位を定めて計画的に工事を実施する。大規模改修や建て替えが必要な場合は、国の補助金を活用して実施を検討する。</p>
点検評価	<p><input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満)</p> <p>今年度は、老朽化に伴う突発的・緊急的な破損・故障が多数発生したが、直ぐに対応し学校運営に支障を来さないよう速やかに適切な処置を実施した。 計画的な改修工事については、優先順位や緊急性を判断し、必要に応じて年度途中であっても工事費を追加しながら限られた予算を最大限に活用して施工した。 平成31年3月に「大館市学校施設長寿命化計画」を策定したことから、改築と大規模改修の実施スケジュールを検討したところであり、具体的な作業は令和2年度から実施する。</p>
課題等	<p>今年度策定した「第2次大館市学校教育環境適正化計画」では、今後10年間の具体的な学校再編計画を示していないため、「大館市学校施設長寿命化計画」をベースに、改築・大規模改修計画を策定することになるが、今後5年間の整備計画に将来統合の対象となると想定される学校をどこまで整備するか、見極めが必要となる。</p>
	<p>取組の方向性</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 継続</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止検討</p> <p><input type="checkbox"/> 単年度</p>
学識経験者等の意見	<p>学校教育の重要な要素となるのが、教育環境の整備充実にある。このことを前面に打ち出して進めている点を評価したい。そして、破損・故障が発生したときに、直ぐに対応したことも評価できる。また、改修工事の実施について、緊急性を判断材料としていることは、学校側として安心して教育に向かうことができる環境整備が期待できる。</p> <p>加えて、課題等の中で、よくある10年計画ではなくて、今後5年間の整備計画にスポットを当てて進めていることも評価できる。</p>
	② 環境整備の充実に向けた校務主事の技術力向上
	教育総務課
活動内容	<p>校務主事の正職員が補充されないため、学校用務未経験者を臨時・非常勤職員として採用しているが、学校環境整備に必要な技術が不足しているため、年2回以上の「現業職場安全衛生講習会」を開催し、必要なスキルの向上を図る。</p>
点検評価	<p><input checked="" type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満)</p> <p>校務主事54名中、臨時・非常勤職員が6割を超え、学校用務未経験の臨時・非常勤職員のみを配置している学校も数校あり、スキルの向上が急務となっていた。 そのため、春は刈払機・芝刈機の操作講習会、秋は冬囲い講習会、冬には除雪機講習会と目標を上回る計3回の現業職場安全衛生講習会を実施した。これにより、経験年数が浅い職員にとっては、環境整備に必要な技術の向上が図られた。 また、女性校務主事に対しては、食中毒防止講習会に参加を要請した。</p>
課題等	<p>定年延長等により、臨時・非常勤で採用する職員の高齢化が顕著となってきており、70代が増加してきている。 機械操作が伴う作業や高所での作業には危険が伴い、体力も必要になることから、安定した雇用により若年校務主事の配置を可能とさせるアウトソーシングの導入を検討する必要がある。</p>
	<p>取組の方向性</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 継続</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止検討</p> <p><input type="checkbox"/> 単年度</p>
学識経験者等の意見	<p>スキルアップの向上に着目して研修等を行っている。これは、教育環境の整備に直接つながり、視点が非常にいいと思う。また、作業による事故を未然に防ごうとしており、今後も継続してほしい。</p> <p>今後は、職員の意欲を高めるために、管理職(校長等)が指示した内容の結果について確認し、子どもたちのためになっている、ということを随時評価することが必要と考える。</p>

重点施策点検・評価表

1-2

基本目標			
1	信頼と安全を築く教育環境の整備充実		
重点施策			
2	健康維持増進の場としてのスポーツ、レクリエーション施設の整備充実に努める	担当課(館)	
	① 適切な補修・改修の実施による施設の維持	教育総務課	
	活動内容	・田代野球場の内野グラウンド排水改修工事を降雪前に完了させ、令和2年度シーズンの通常使用を可能にする。 各施設の快適性や安全性に配慮した補修・改修工事を計画的に進め、利用者の利便性や安全確保を図る。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満) 今年度は例年に比べて降雪量が極端に少なかったことから、田代野球場の改修工事は十分な工期を確保して工事を完成させることができた。令和2年の利用開始は通常どおり行われる予定となっている。 また、昨年オープンした二ツ山総合公園の水遊び場は、多くの子どもたちでにぎわう予定だったが、クマの出没により5月と7月を立ち入り禁止とした。 利用制限は、どの施設においても考えられるため、施設の開放は、利用者の安全確保を第一に考え、併せて施設や設備の安全性にも配慮して補修・改修を実施した。	
	課題等	令和2年度から、スポーツ振興課は教育委員会を離れ「観光交流スポーツ部」に移管されるが、これまで当課で行ってきた体育施設の維持補修や工事発注は、今後、スポーツ振興課で行うことになるため、当面は両課で連携し、維持管理や補修方法等の引き継ぎを行っていく必要がある。	取組の方向性 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	学識経験者等の意見	暖冬少雪による天の恵みを利用して事業を推進し、予定していなかったところまでできたことは、積極性が感じられ評価したい。降雪量やクマの出没については、自然との付き合い方が試される事例だと感じた。暖冬小雪や野生動物の動態などの自然に逆らうことなく、自然に対応した事業を行っている。クマの出没に対する対応については、事故につながらないよう、きちんとした対応をしていると感じられる。	
	②	教育総務課	
	活動内容		
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満)	
	課題等		取組の方向性 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見			

重点施策点検・評価表

1-3-1

基本目標			
1	信頼と安全を築く教育環境の整備充実		
重点施策			
3	豊かな人間形成の場としての社会教育施設等の整備充実に努める		担当課(館)
	① ほくしか鹿鳴ホール(大館市民文化会館)から発信する芸術文化鑑賞の充実		教育総務課
	活動内容	4月からネーミングライツ(命名権)を導入し、歳入の確保が図られることから、命名権料を活用して自主事業を充実させ、芸術文化鑑賞の機会を提供する。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満) 市の財源確保及び企業のノウハウを活用した施設運営を市民サービスの向上を目的として、令和元年度からネーミングライツ(施設命名権の売却)を導入し、愛称が付与された。5月に記念セレモニーを開催したほか、館内にパートナー企業のブースを設置し、パートナーの紹介とともに、市内外から訪れる来館者に愛称の周知を図った。 また、昨年度末から、2階会議室等を利用する高齢者や障害者等の不便を解消するため、1階にある展示室を2階同様に利用できるようにし、それに合わせて料金区分も変更した。	
	課題等	文部科学省から示されている「文教施設長寿命化計画」の策定期限が令和2年度までとなっているため、年度中に策定しなければならない。 また、駐車場不足などの残された課題については、解決に向けて近隣公共施設の敷地の活用や拡充における費用対効果の検証に取り組む必要がある。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	学識経験者等の意見	ほくしか鹿鳴ホールというネーミングは、大変すばらしい名称だと思う。 施設の利活用について、高齢者や障害者に視点を当てて変更したことは適切であった。 また、「文教施設長寿命化計画」について、新型コロナウイルス感染症に対する対応が大変なときではあるが、是非、計画を策定してほしい。 駐車場の利用について、満車のときなど、近隣の駐車場を記載しているガイドを配布し、案内を工夫するなど、利用者に配慮した運用がなされている。	
	② 社会教育施設の維持管理及び充実		教育総務課
	活動内容	比内公民館研修室エアコン改修工事を夏前までに完了させ、田代公民館授乳室改修工事などは遅滞なく実施し、社会教育施設の良い施設環境の維持を図る。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満) 真中公民館駐車場舗装工事や比内公民館のエアコン設置工事などの社会教育施設の維持改修や、中央公民館の危険ブロック塀を撤去した安全対策工事、女性センターの託児室の改修工事等を実施し、利用者の利便性と良好な環境整備の向上に努めた。 その他、年度中に発生した緊急工事・補修工事等については、補正で予算を確保し年度内に全て完了させた。	
	課題等	公共施設等総合管理計画の「個別施設計画」では、現在使用中の施設は、全て当面活用することとしているが、施設や設備の老朽化に伴う統合や廃止等を検討していく必要がある。 そのため、令和2年度中に「社会教育施設長寿命化計画」を策定し、目的に沿った施設の整備・充実や、解体・改築などの方針を検討していく必要がある。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	社会教育施設の特徴は、施設数が多いこととその場所が分散していることにある。それにもかかわらず、48施設全てに利便性を高めて、良好な環境整備が図られている。48の施設に対応していくことは、毎年何かが起こることを想定し、継続した対応が望まれる。		

重点施策点検・評価表

1-3-2

基本目標	
1	信頼と安全を築く教育環境の整備充実
重点施策	
3	豊かな人間形成の場としての社会教育施設等の整備充実に努める
	担当課(館)
	③ 社会教育施設の安全性の確保
	教育総務課
活動内容	建物の経年劣化が進む小畑勇二郎記念館の改修工事を年内に完了させ、利用者の安全と安心を確保する。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 通路(廊下)の沈下や外壁の劣化等を改修した工事が完了し、今後の利用者の安全確保が図られた。また、記念館のPRと見学者の増加を図るため、劣化した案内板の更新工事を実施した。これらの改修及び工事により、低迷していた見学者数に増加が見られた。
課題等	安心安全な施設の存続が図られたことから、積極的な利活用に向けた見学者数の増加などにさらに取り組む必要がある。 取組の方向性 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	小畑勇二郎は、秋田県知事として実績を上げただけでなく、生涯教育の先駆者であった。郷土が輩出した人を風化させない取り組みを評価する。また、いつでも利用したい、見学したいという人に応える体制が維持されていることも評価する。記念館に多くの人に来てもらえるよう、無料入場券の配布などを考えてはどうか。
	④ 交流人口拡大に向けたニプロハチ公ドームの活用及び整備
	教育総務課
活動内容	平成30年度は16年ぶりとなるコンサートの開催を実現し、市内外から約3,000人を集客して地域の活性化につなげることができた。引き続きイベント関係者などにドームの魅力を発信するとともに、指定管理者及びネーミングライツ・パートナーと連携し、スポーツのみならずさまざまなイベント開催などに利活用して交流人口の増加につなげていく。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 大規模なコンサートなどは開催出来なかったが、例年開催されるきりたんぼまつりやエコフェア&マンモスフリーマーケットのほか、10~11月に開催された秋田県種苗交換会には80万人を超える来場者があった。これにより、年間来場者数が100万人を超え、交流人口の増加につながるとともに、天候に左右されずに開催できる施設の魅力が発揮された。また、4年ぶりに有名アーティストのコンサートリハーサル会場として利用され、イベント関係者にドームの魅力を伝え、今後のコンサートの招致を図った。
課題等	今後も引き続き、イベント関係者にコンサートの開催を働きかけていくが、今回の有名アーティストのリハーサルが行われた際にも「音漏れに対する騒音苦情」が発生したことから、コンサートを実施するに当たっては対応策を検討しておかなければならない。 またコンサート以外でも、ネーミングライツ・パートナーと連携しながら、野球大会や祭事など集客力の見込まれる新たなイベントの企画に取り組む必要がある。 取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	天候に左右されない大規模な施設を有することが、市の魅力の一つとなっている。そのことを有効に活用して、年間100万人を超える利用を達成したことは、胸を張ることができる。ドームは、コンサート会場ではないので、音漏れに対する苦情は発生するが、周辺の地域住民の理解が得られるよう、今後とも継続した対応が必要と考える。また、シーズンオフの時期にネーミングライツ・パートナーと連携しながら、野球大会などを実施する取り組みはとても良い企画である。

重点施策点検・評価表

1-4

基本目標	
1	信頼と安全を築く教育環境の整備充実
重点施策	
4	大館の教育の理念と実践について、市民への周知と全国への発信に努める
	担当課(館)
	① 教育委員会施策の情報発信の強化
	教育総務課
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 毎月開催する教育委員会会議に、施策やその実施状況の報告等を的確に行い、協議・討議・提案を諮り、議事録をホームページ等で公表する。 教育委員会点検・評価の公表や総合教育会議の議事録など、教育委員会の活動を市民及び全国に発信し、教育の産業化構想やおおだて型アクティブラーニングの周知を図るとともに、大館で学ぶ交流人口の拡大に努める。 開かれた教育委員会としての透明性を図るため、ホームページの他、定例記者会見や報道機関への取材要請などを活用し、情報発信をより積極的に行う。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) <p>教育委員会の活動を理解してもらうため、総合教育会議及び教育委員会会議の議事録をホームページに公表し、施策の取り組みの透明化を図った。 また、学識経験者の知見を活用して実施事業の客観性を確保するため、教育委員会の重点施策の点検・評価を実施し、その結果を公表して教育委員会が進める大館の教育への理解に努めた。 ホームページを活用した施策・事業の周知は、定例記者会見や報道機関への取材要請などで積極的な情報発信に努めた。</p>
課題等	<p>令和2年度からホームページが新しくなるが、慣れない閲覧者が分かりやすく利用しやすい環境の構築が必要である。 また、全国から関心を集める大館の教育の理念と実践を、ホームページを活用して全国に情報発信しているが、何よりも市民に対して周知を図ることが重要であるため、市広報や地元紙に市の取り組みなどを掲載して、大館の教育への理解を得ることが大切である。</p>
	取組の方向性
	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	<p>大館市の教育は注目度が高いので、分かりやすく情報を発信しなければならない。様式、開きやすさを工夫して継続してほしい。市民に対して周知を図ることはとても大きい、そのことを前面に出していることは、大変大事なことである。 今後も、市民に対して周知を図ることを重点として取り組んでほしい。</p>
活動内容	
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)
課題等	
	取組の方向性
	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	